



Title	随想 : 滝
Author(s)	辻野, 直三郎
Citation	makoto. 1975, 11, p. 2-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86220
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

滝

財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻野直三郎

滝は川の平衡断面に継目があつて上流側が高い場合にその継目に滝が生ずることであり、河床の一部が垂直に近くなつて、流水が河床を離れて落下する場合これを「滝」と呼んでいる。

滝を文化面に利用している点、天恵の飲料水と水力発電として、一日も欠かすことのできないものである。幸にして日本は地理的にも山岳地帯多く、このため滝が各所に点在しているが、その内、名瀑の一一二をあげることにする。

まず、関東地方には華厳滝がある。この滝は日光国立公園にあり、日光七十二滝中の第一の滝。仏教の経巻の名をとつたものといわれ、中禅寺湖を源とする大谷川が男体山から流出した溶岩にかかつてできた滝で、高さ九六・三 m、幅は上部で一〇 m 余、名瀑にふさわしい風景と美観を誇示している。

関西地方の名瀑としては那智滝と箕面滝があげられる。

那智滝は紀伊勝浦町那智山にあり、四十八滝と呼ばれる中の「一ノ滝」大滝で、ヒノキ、スギなどの原始林に囲まれ、石英粗面岩の断崖にかかり、高さ一三〇 m、幅落口で一二・一三 m で、高サで日本一と称せられている。

箕面滝は大阪府下箕面市の箕面公園内にあり、附近は桜、モミジを始めとして植物、鳥類、昆虫の宝庫としての「明治の森国立公園」の中で美観をほしいままにし、高さ三三 m（一説に四八 m）あり、名瀑の名をたたえられている。

古来、滝は神聖視されてきた。那智の滝のように神を祭つた所も多く、滝水に打たれて行（ぎょう）を行なう「修験者」の道場でもある。また伝説地としては、岐阜県の養老滝の如く、孝子伝説の地としても有名である。神戸市葺合区にある布引滝は生田川が六甲山地南側カコウ岩の断層崖を刻むところにあり、

雄滝・雌滝の両滝に分れ、古来名所として知られている。

明治の森箕面国立公園

天下の景勝地箕面は、古くは元禄の昔から「紅葉と滝の名所」としてたえられている所であるが、明治三十一年（一八九八年）大阪府最初の府営公園となつた。この公園の生みの親、故森秀次氏は池田市細河の出身で私財をなげうって公園整備に力を入れた先覚者で、その名を忘れてはならない。その後明治四十三年箕面有馬鉄道（現阪急電鉄）の開通するに及んで都心から三〇分、大阪国際空港から一〇分という交通至便の観光地として一躍有名になった。その後昭和四十二年は明治百年を記念して国は明治の森箕面国立公園として指定、さきの箕面公園（面積約八三・七六 ha）及び周辺の森を含めて総面積に九六二・六 ha の大自然が憩いの場所となった。このゆたかにして大自然に包まれた箕面市は、

北摂連山を背にして澄みきった青空のもと、さんさんと輝く太陽と緑のもとで、春は桜に青葉、夏は河鹿の声に、秋は紅葉、冬は鍛錬とレクリエーション、四季それぞれの趣きの外、植物、鳥類、昆虫の種類に富み、その宝庫として地域的、天恵的の自然教室の感がある。また文化財としても豊富であるが、滝安寺（箕面市）の開基は白雉元年（六五〇年）役の小角が箕面滝で修業し、この寺を建立したのがはじまりで修験道の根本道場として発展してきた。天台宗寺門派園城寺聖護院派に属し弁財天を祀るが、これは日本最古の弁天さまで竹生島、江之島、厳島と共に日本四弁天の一に数えられている。往時より皇室の尊崇深く、山門は寛永四年御所の旧御門を下賜されたものである。

勝尾寺は西国観音霊場三十三番札所の一つであり現存する建物は豊臣秀吉の造営であるといわれている。神龜四年（七二七年）撰津国守藤原教房の子善仲・義算の開基で天平神護元年（七六五年）光仁天皇の御子開成皇子によって弥勒寺と名づけられ、その後、勝尾寺と寺号を改められた。以上の滝安寺、勝尾寺は奈良時代に始まる山間の密

教寺院と称すべきものである。元禄時代（一七〇一年）の義挙として有名な赤穂義士萱野三平の旧邸は箕面市芝（旧萱野村）にあり、自刃の部屋が当時のまま残されている。またアフリカで黄熱病研究の礎となった故野口英世氏の像、並びに前述の箕面公園設置の功労者故森秀次氏の像も建立されて、行人墨客の尊敬を集めている。昭和二十八年建設された故中林憑次氏寄贈の昆虫館には約六〇〇種、八〇〇〇点の昆虫標本が展示され、昆虫研究の至宝である。その他勤労者憩の家、青少年の家、みのお山荘などあり、餌（え）付けで有名になった箕面の野猿は歴史も古く、滝安寺にある江戸時代の絵巻物に多くのサルがえがかれており、昭和三十一年十二月天然記念物に指定された（現在百五十匹）。静寂にして幽邃、そのなかに躍動する健康都市、明日を荷なう青少年を育てる明るい環境、調和のとれた教育をモットーとする施設の各種、この恵まれた観光都市箕面市の木と花「イロハモミジ、及びササユリ」の、のびのびとした発育と成長を祈ってやまない。

（安言多謝）